

# 平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	69	事業名	函館湯川漁港交流広場管理所要経費		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	函館湯川漁港交流広場管理所要経費		中事項	函館湯川漁港交流広場管理所要経費		部課名	農林水産部水産課		
事業開始年度	平成 26 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名( ) <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等( ) <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館湯川漁港交流広場条例, 函館湯川漁港交流広場条例施行規					電話番号	21-3339

## 1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p><b>【目的】</b>                  漁業に対する市民および観光客の理解と関心を深め、ならびに海や漁業に親しむ場と憩いの場を市民および観光客に提供し、もって市民の福祉の増進と観光の振興に資することを目的とする。</p> <p><b>【必要性】</b>                  海や漁業に親しむ場と憩いの場を市民および観光客に提供するための施設であり、維持管理が必要である。</p>
内容	当該施設の維持管理に必要な経費 (平成24年度および平成25年度で施設が整備され、平成26年4月1日に供用開始している。)

## 2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
<b>事業費 (A)</b>		0	0	960	610	1,128	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
<b>一般財源</b>				960	610	1,128	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.03 219	人工 0.03 219	人工 0.03 225	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	<b>人件費(B)</b>	0	0	219	219	225	0
<b>総事業費計(A+B)</b>		0	0	1,179	829	1,353	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民および観光客の利用	日			365	
イベント開催時の利用	回			1	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない。
------	--------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	当該事業による施設の維持管理により、市民等の利用者に快適な環境を提供できた。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	市民および観光客に利用されている施設であり、今後においても多くの利用が見込まれる。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	維持管理に必要な最小限の支出とし、事業コストの節減に努めている。今後、トイレや四阿などの維持補修等のランニングコストの増加が見込まれる。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	
			受益者負担の適正度	評価対象外			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	海や漁業に親しむ場として、湯の川温泉花火大会などのイベントを通じて知名度も向上しており、市民や多くの観光客等が利用している。	執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	本施設は常時の管理を要さず、光熱水費の支出など必要最小限の業務を行っている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など							

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 市民および観光客に利用されている施設であり、今後においても快適な環境を提供する必要がある。
	現行どおり	(経費について) 当面は、現行どおりの経費での維持管理が可能であるが、今後、トイレ等の施設については、経年劣化等によるランニングコストの増加が見込まれる。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--